

2年	地震が起きたら		学活
実践の時期	平成7年6月	仙台市立上杉山通小学校 教諭 今藤 正彦	
実践のねらい	避難訓練の事前指導として、授業中や休み時間に地震が起きたらどのように行動すればよいかを理解させ、児童の防災意識を高める。		
新聞活用のねらい	導入と結末の段階で新聞記事を用いることにより、大地震が現実に行き起こっていることを意識づけ、避難訓練に真剣に参加できるようにする。		
実践収録資料	N I E 小学校部会実践事例集第5集、平成7年度上杉山通小学校研究紀要		

◎実践の概要

<p>導入 ○教師の提示した地震の新聞記事をきっかけに、地震の恐ろしさについて話し合う。</p> <p>※資料・阪神大震災関連記事 (H7, 1, 18 河北新報朝刊)</p>	<p>児童の反応</p> <p>新聞の大きな見出しやカラー写真に引き付けられ、地震がいつどこで起きるかわからないものであることを実感していたようだ。テレビのニュースで見たことを思い出した児童も多かった。</p>
<p>展開 ○授業中に地震が起きたらどうすればよいかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示に従う ・机の下に入り頭を守る <p>○休み時間など先生がいない時に地震が起きたらどうすればよいかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭上から物が落ちてくるような危険な場所を避け、放送の指示に従い行動する 	<p>ワンポイントアドバイス</p> <p>授業で使いたいと思う新聞記事をこまめに収集・保存しておくことがポイント。</p>
<p>結末 ○実は宮城県でも強い地震が起きたことがあることを知る。</p> <p>※資料・宮城県沖地震関連記事 (S53, 6, 13, 14 河北新報朝刊)</p>	<p>児童の反応</p> <p>自分たちの住む仙台でもビルが倒壊するような大きな地震があったことに驚き、地震に対する意識が高まった。</p>

※導入の阪神大震災の新聞記事は、校内のN I E ルームに保管していたものを使用した。また、結末の段階では宮城県沖地震の新聞記事第一面（二日分）を縮小印刷して児童に配布した。また、写真記録（'78宮城県沖地震—その記録と教訓—1978, 6, 28河北新報社）を見せ、地震の被害を視覚的にとらえさせた。